

課題名：Macacine alphaherpesvirus 1(B virus) infection in humans identified for the first time in Japan(日本で初めて発生したヘルペス B ウイルス感染症) のウイルス学的検査結果公表について

1 「公表の目的について」

ヘルペス B ウイルス感染症はサルから感染し、ヒトに重い神経症状を引き起こす世界的にも稀な感染症です。2019 年に自治体からの要請により国立感染症研究所に検体が送付され、ウイルス学的検査が行われ、当該検体からヘルペス B ウイルスが検出されました。

日本で初めてヘルペス B ウイルス感染症が確認されたことから、国内のサル施設で仕事に従事される方々にも感染リスクがあることが改めて認識される必要があります。また、今回どのような手法で診断が行われたかを公表することは、将来、この稀な感染症の発生が疑われた際の適切かつ迅速な対応につながります。このため、今回、国立感染症研究所で実施されたヘルペス B ウイルスに関するウイルス学的検査結果を、国内外の医療関係者、ウイルス感染症対策に関わる方々に知っていただく必要があります。

2 「公表の方法について」

英語論文および、同じ内容の日本語論文を学会や学術雑誌に投稿します。感染症分野の専門家による審査後、採択されれば、専門誌面上及び専門誌webサイトに掲載されます。

3 「論文構成について」

論文構成は以下のようになっております。

- ① タイトル：日本で初めて報告されたBウイルス感染症
- ② 著者：山田壮一、片野晴隆、佐藤由子、鈴木忠樹、宇田晶彦、石嶋慧多、鈴木基、原田志津子、木下一美、Phu Hoang Anh Nguyen、海老原秀喜、前田健、福士秀悦
(以上、国立感染症研究所)、山田大悟 (厚生労働省)、西條政幸 (札幌市保健福祉局・保健所)
- ③ 検体からのウイルス遺伝子、抗原検出法および検査結果

4 「個人情報保護について」

本論文はウイルス学的検査結果を述べるものです。患者様の性別、年齢、居住地、基礎疾患臨床データ、会社名、医療機関名など個人を特定できるような情報は含まれません。なお、論文の記載内容については事前に担当医師の了承を得ています。

5 「利益相反について」

本論文の公表にかかる費用は公的資金 (科学研究費助成事業基盤 C (20K06404、代表 福士秀悦および、21K05967 代表 山田壮一、AMED 新興・再興感染症に対する革新的医薬品等

開発推進研究事業 課題番号 JP23fk0108634 代表 前田 健) から支払われます。本論文の公表においては、営利企業からの資金提供はなく、利益相反はありません。

6 「公表に関する問い合わせ、相談等について」

下記にお問合せください。

(所属) 国立感染症研究所ウイルス第一部第四室

(役職) 室長

(氏名) 福士 秀悦